

平成28年度

石神第二小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 今野敦子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

すべての児童が生き生きと活動し、主体的に学ぶことができる、「地域に誇れる学校」「地域が誇れる学校」づくりを目指している。今年度から3年間、相馬地方小学校教育研究会より国語の指定を受け、特に国語教育に力を入れている。

昨年度、耐震工事が完了し、学校図書館の新しく明るい雰囲気が読書環境に適しており、休み時間には貸出に児童が集まり、静かに読書をする児童の姿が見られる。

学校図書館支援活動は5年目に入り、今年4月に支援員の異動があった。

平成28年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	合計
40名	49名	43名	35名	54名	47名	10名	278名

(平成28年12月末時点)

学校派遣日 月・火・水曜日 週3回

図書担当教員 山崎たけみ先生・稲垣みゆき先生

学校図書館蔵書数(4月当初) 9,828点

学校図書館受入点数(3月末時点) 629点

うち 市費購入点数及び金額 245点(469,097円)

うち 寄贈資料点数 341点

うち PTA費購入点数 43点

2 平成28年度の課題及び目標

1-1 課題 第二図書室(閉架書庫)の整理

1-2 課題 昭和年度受入図書の更新

1-3 課題 第一図書室配架図書の正確な分類番号および著者記号の付与・ラベル変更

1-4 課題 学級担任等と協力した学校図書館の利用促進および貸出・返却方法の周知徹底

2-1 目標 除籍対象の図書を判別し計画的な除籍を行い、利用し易い環境作りに取り組む。

2-2 目標 除籍および廃棄を行った蔵書に代わる新しい情報の図書の選書・受入を進める。

2-3 目標 利用頻度の多い4類の分類番号・著者記号の付与・ラベル変更の完了を目指す。

2-4 目標 図書館オリエンテーションを行い、学級担任等と児童ともに、図書館利用について理解を深め、正しく活発な利用促進へ繋がるようにする。

3 活動の方針

- ①第二図書室内の複本の冊数を見直すとともに、傷みの度合いが高い図書や発行年が古く、使用頻度の低い図書の除籍作業を進める。
- ②第一図書室内の図書の配架状況を把握し、学級担任等や児童から授業等で必要な図書の情報を得るようにし、新しい情報掲載の図書の選書・受入に努める。
- ③図書ボランティアの方々の協力を得ながら、主に4類の正確なラベル変更に取り組む。
- ④図書館オリエンテーションを行うことで、図書室の利用を促し、児童の図書室利用状況を学級担任等に報告し協力を求めることで、図書館利用の習慣化をする。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書担当教員との打合せ ・ 図書室廊下壁面飾り作成 ・ 図書館オリエンテーション ・ ニュースキン文庫選書開始 ・ 学級文庫配本開始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期組織編成、計画設定 ・ 貸出当番の手順確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議① ・ 図書の借用開始
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人貸出および授業利用開始 ・ 図書室廊下壁面飾り作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 貸出当番開始 ・ 学級文庫配本開始 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題図書の受入 ・ ニュースキン文庫選書終了 ・ 図書室廊下壁面飾り作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低学年への読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議② ・ ニュースキン文庫選書確認・発注終了
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースキン文庫の受入 ・ 1学期貸出冊数の集計 ・ 市教研国語科発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期未返却者確認、督促 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとしょかんだより配布 ・ ニュースキン文庫納品終了
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分類ラベル修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースキン文庫の紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議③
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市費購入図書選書開始 ・ 図書室廊下壁面飾り作成 ・ 分類ラベル変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み貸出未返却者督促 ・ 前期活動の反省 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書月間計画設定 ・ 分類ラベル修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後期組織編成、計画設定 ・ 貸出当番の手順確認 ・ 貸出当番開始 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書月間企画実施 ・ 次年度新聞雑誌選定終了 ・ 分類ラベル修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読書月間企画実施、周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議④
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市費購入図書の受入 ・ 2学期貸出冊数の集計 ・ 分類ラベル修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期未返却者確認、督促 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもとしょかんだより配布
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ お正月お楽しみ企画実施 ・ 分類ラベル修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬休み貸出未返却者督促 ・ 低学年への読み聞かせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館支援員会議⑤ ・ 市費購入図書選書確認・発注終了

2月	・個人貸出終了 ・分類ラベル修正	・長期未返却者確認、督促	・学校図書館支援員会議⑥ ・市費購入図書最終納品終了
3月	・蔵書点検 ・不明本搜索 ・3学期貸出冊数の集計 ・次年度計画	・蔵書点検 ・不明本搜索 ・後期活動の反省	

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4～5月

- ・図書室廊下壁面飾り「ごにゅうがくご進学おめでとう」作成
- ・寄贈図書、新聞、雑誌の受入 ・図書の除籍⇒2-1 目標
- ・代本板のカラーテープ・名前シール貼り、クラス名書き（図書委員とともに）
- ・「アレクサンダのこいしさがし」（4月上旬より開始）
絵本『アレクサンダとぜんまいねずみ』より考案。いろいろな色のホイル折紙で作った小石を箱から1つ引かせ、「紫は願いがかなう」「赤は健康運がいい」等その日の運勢を占う。
- ・図書館だより第1号発行（4月中旬・支援員自己紹介、図書委員の取り組み紹介等）
- ・図書館オリエンテーション（1年・2年・4年1組・6年2組・ひばり学級）⇒2-4 目標
- ・教科書掲載図書の在庫確認⇒2-2 目標
- ・愛鳥週間に合わせた、企画本「鳥の本」特集
- ・読み聞かせ実施回数 合計2回（2年2組…1回、図書委員への読み聞かせ指導…1回）

6～7月

- ・中央図書館見学（2年）
- ・4年国語「調べたことを整理して書こう『新聞を作ろう』」の導入として、「新聞の楽しみ方・読み方」の授業（●新聞とは何か●新聞の種類●新聞の数●新聞紙面の仕組み●5W1Hについて●新聞を楽しむには）を行った（約45分間）。



写真1

新聞の種類は黒板にプレートを貼って説明

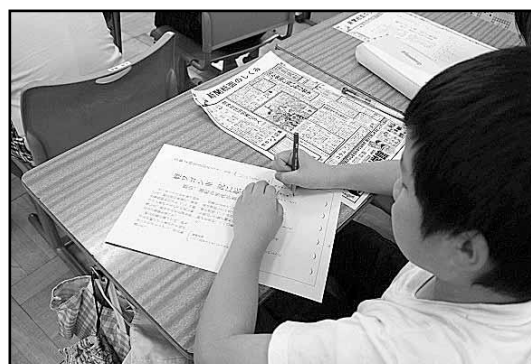


写真2

新聞記事から5W1Hを探す児童の様子

- ・「マックスとかいじゅうたちのアゲインカードゲーム」（6月初旬より開始）

絵本『かいじゅうたちのいるところ』（モーリス・センダック／作・富山房）より考案。初めに箱の左穴から①ファーストカードを引き、次に右穴から②アゲインカードを引き、同じキャラクターカードが出たら「ラッキー」とするカードゲーム。箱とカードは「名作シリーズおりがみ」を活用して作成。児童はとても喜んで何度もチャレンジしていた。

- ・図書室廊下壁面飾り「夏の花や果物を乗せて走る列車」（図書ボランティア共同・写真3）
- ・「はらぺこあおむしのトリプルえあわせ」（6月下旬より開始）

絵本『はらぺこあおむし』（エリック＝カール／作・偕成社）より考案。箱を上下左右に振って3つのサイコロの面を合わせる遊び。「名作シリーズおりがみ」を活用して、サイコロを3つ作り、3つに分かれた透明ケース入れ、画用紙でコーティング。（写真4）



写真3

折紙で作った夏をイメージさせる花や果物を折紙の列車に乗せ、夏の訪れを表現



写真4

2つは揃うが3つとなると難易度がアップ!

- ・親子（家庭）読書の実施（昨年度から実施・6月より開始）

第3日曜日（家庭の日）に20分間テレビやゲームを消し、親子（家族）で読書する時間を作ろうという取り組み。感想を記入した親子読書カードを支援員が確認し、感想の一部は図書館だより等で紹介。読書の推進とともに親子の交流のきっかけ作りとなった。読書力向上の一助とする。

- ・図書館だより第2号発行（7月初旬・図書室の様子、図書ボランティア活動、親子読書等）
- ・ニュースキン文庫（ニュースキンジャパン(株)より50万円寄贈）の選書、受入

2・4・6年国語教科書掲載図書を中心に、4類と6類で不足している図書(⇒2-2目標)や先生および児童からのリクエストを参考に選書した。寄贈印押しは図書委員と図書ボランティアの協力を得て行い、図書委員前期反省でこの作業が楽しかったとの感想があった。

- ・南相馬市教育研究会国語部会（7月26日（火）9：00～10：10）

研修主題「学習センターとしての学校図書館の活用～学力と読書活動～」

【講義】「学校図書館の運営と活用」を中央図書館司書が担当。次に「学校教育と図書館の連携」を支援員が担当し、パワーポイントと資料を使って、1学期の取り組みを発表した。

【演習】「読み聞かせの進め方」として、支援員（手遊びと短い科学絵本）と司書（名作絵本）が読み聞かせの実演を行った後、6班に分かれた先生方が、用意していた本の中から数冊

選び、読み聞かせの練習を行った。先生方から絵本に触れる良い機会となったとの声あり。

・「しろくろのパンダです。」(7月下旬より開始)

絵本『しろくろのパンダです。』(平田昌広/作・平田景/絵・国土社)より考案。助詞が入れ換わると意味が変わることの面白さを伝える絵本。その絵本に出てくるパンダをイメージして切り絵で作ったカードを並べ、ルーレットを回し、当たった助詞を◎に入れ、当てはまるパンダを選ぶゲーム。楽しみながら助詞を学ぶことがねらい。(写真5)

- ・読み聞かせ実施回数 合計4回(2年1組…2回(うち図書館見学时1回)、2年2組…1回、1年合同…1回)

【事例】2年国語「きいてたのしもう『いなばのしろうさぎ』との関連授業

絵本『いなばの白ウサギ』(谷真介//文・赤坂三好//絵・佼成出版社)と紙芝居『泉長者』(南相馬市の昔話)をそれぞれ読み聞かせした後、児童に感想を述べさせた。

- ・並行読書・調べ学習用図書提供

全学年からそれぞれ依頼あり。事例として、以下1つずつ掲載した。

学年	教科名	単元名	内容
3年	国語	読んで、かんじたことを発表しよう 「もうすぐ雨に」	ふしぎなことや大さわぎがおこる物語を読む。
			並行読書用図書の提供・成果等
			<ul style="list-style-type: none"> ・教科書掲載図書を参考に、文章の量や主人公が人間であること等を考慮しながら、ふしぎなことや大さわぎがおこる物語を28冊用意した。 ・先生より「普段あまり読書をしない児童も含め、多くの児童が熱心に読んでいた」という話を聞くことができたことから、読書欲の高まりに成果があったと考えられる。
4年	国語	わたしたちのふるさと・南相馬!	南相馬の歴史や文化遺産等について理解を深め、郷土愛を育てる。
			調べ読書用図書の提供・成果等
			<ul style="list-style-type: none"> ・南相馬市の歴史・文化・民話などがわかる本を16冊用意した。 ・先生より「南相馬市について詳しく調べることで、先人の知恵や努力にふれ、自分達も南相馬市を豊かで明るいものにしていこうとする意欲と態度につながった。さらに、この学習を通して、他の分野でも自分が興味・関心を持ったことについて、自ら本を選び、調べて理解を深めようとする態度が育った。」との意見をいただくことができた。(写真6)

※提供資料は教室廊下に展示し、児童が本を手に取り易い環境作りをしているクラスが多い。



写真5

パンダカードの裏には答えの記載あり



写真6

資料で調べたことを紙芝居にまとめた班

8～10月

- ・「えほん」の表示、えほんの並び方の説明、日本十進分類表キャラクターの貼り付け。
- ・「世界のともだち」全36巻入荷特別企画「よんでGO!!世界旅行へ」（8月下旬より開始）
 ニュースキン文庫に入れた「世界のともだち」（偕成社）を知ってもらうために企画。36枚の国旗カードから1枚引き、その引いた国の「世界のともだち」を読もうというもの。
 ※36カ国以外の国旗カードも作成。児童に国旗クイズを出し交流を深めることができた。
- ・4類のラベル変更作業（旧ラベルはがし・正しく分類後、新ラベルの貼り付け）⇒2-3目標
- ・図書室廊下壁面飾り【秋】「ハロウィン～おばけやしきにコウモリやかぼちゃを飾って～」
- ・児童への折り紙指導（ハロウィンスターやきのこを作成→11月読書月間の掲示等で使用）
- ・読み聞かせ実施回数 合計2回（個人面談待機時1回・図書委員への読み聞かせ指導1回）

11月～12月

- ・図書館だより第3号発行（11月初旬・11月読書企画、読書感想文特選受賞作品の紹介）
- ・11月読書月間企画 その1「読書クイズ」

学年別に国語の教科書関連作家等の図書から、本文を読まないで答えが分からないクイズを作成し、図書室内にクイズと図書を設置した。正解者には戦国武将シールか宝石シールを、不正解者には折り紙で作ったミニブックをプレゼント。解答者…115人（写真7）

学年	国語の教科書関連	クイズとして選んだ図書
1年	日本の昔話	『かにむかし』木下順二／文・清水崑／絵（岩波書店）
2年	アーノルド・ローベル	『ふたりはいっしょ』（文化出版局）より「クッキー」
3年	外国の昔話	『長ぐつをはいたねこ』ハンス・フィッシャー文／絵（福音館書店）
4年	新美南吉	『がちょうのたんじょうび』（小峰書店）より「去年の木」
5年	椋鳩十	『月の輪ぐま』（岩崎書店）より「片耳の大シカ」
6年	宮沢賢治	『どんぐりと山猫』佐藤国男／絵（子どもの未来社）

- ・11月読書月間企画 その2「ダブルカード・トリプルカード」

11月中に、合計5冊借りると銀のダブルカード（2倍の2冊借りられるカード）が、さらに1年生は合計10冊・2年生以上は合計8冊借りると金のトリプルカード（3倍の3冊借りられるカード）がもらえるという企画。カードに学年と氏名をゴム印で押す作業を図書委員が担当。11月の個人貸出冊数が10月の2.6倍の冊数となったため、一定の効果があつたと思われる。ダブル達成者…99人・トリプル達成者…58人（写真8）



写真7 クイズの説明を読む4年生



写真8 カードをもらって笑顔の1年生

- ・市費購入図書を選書、受入⇒2-2 目標

- ・図書室廊下壁面飾り【冬】「ハートのアドベントカレンダー」

図書室廊下の掲示板に、折り紙で作った24個のハートの封筒をツリーの形に並べて貼ったアドベントカレンダー(中にはミニブック等入り)。児童・先生からとても好評だった。

- ・歴史クイズ(戦国編・徳川将軍編)、水の生きもの漢字クイズ

歴史に興味がある児童が多かったことから考案。折紙で作ったえんぴつ型のカードの表にクイズを、裏に答えを貼って作成。クイズを始めると児童が自然と集まり人気があった。

- ・1月お正月プレゼント企画「戦国武将鳥家紋お守り」と「おんな城主直虎 姫守り」準備
- ・読み聞かせ実施回数 合計4回(1年1組…1回、1年2組…1回、1年合同…1回、2年1組…1回) ※4月～3月…合計13回

5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・市図書費の選書アドバイス(本の分類確認)および発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 1,154点/年

6 学校図書館貸出実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数

(単位:点)

	1年 (2クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
年間合計	1,189	1,242	1,059	874	1,259	1,232	294	7,149
一人あたり	29.7	25.3	24.6	25.0	23.3	26.2	29.4	25.7
一人あたりの 昨年度比	127%	103%	70%	133%	85%	340%	92%	118%

※1 1人1冊1週間の貸出

※2 夏休み用貸出(7月)および冬休み用貸出(12月)は1人3冊貸出可

② 学級文庫貸出点数

(単位:点)

	1年 (2クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	438	195	165	121	148	181	46	1,294

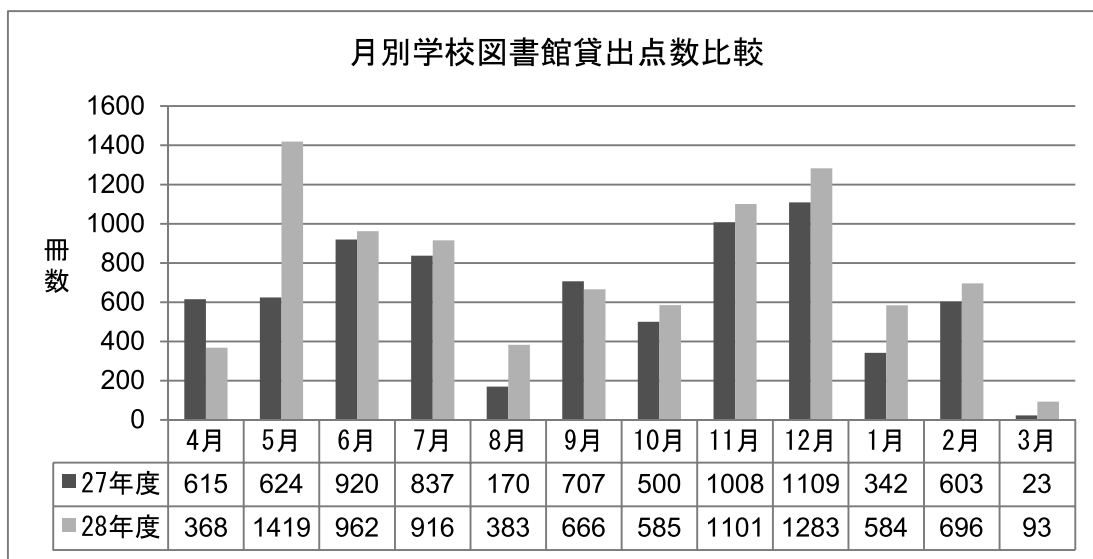
③ 調べ学習等貸出点数

(単位:点)

	1年 (2クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級 (2クラス)	総合計
学年合計	82	140	68	108	115	65	35	613
昨年度比	35%	184%	124%	108%	86%	53%	27%	72%

(2) 学校図書館利用実績比較

表1 月別貸出点数の比較



今年度は昨年度に比べ、貸出冊数に増加傾向が見られる。5月の貸出冊数が増えた理由は、学級文庫の入替を行ったことによる。11月の貸出冊数の増加は「ダブルカード・トリプルカード」の効果が影響している。配属1年目で、まずは児童の読書傾向を知ることがを心がけ、どのような図書を読みたいかを積極的に問いかけ、図書室にない場合は市立図書館から借用して提供したことが冊数の増加につながったと思われる。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- 3-1 第二図書室図書の正確な分類配架・除籍が必要な図書の把握を行うことができた。
- 3-2 除籍作業で不足した分野の図書の購入を進めることができた。
- 3-3 PTAボランティアの方の協力を得て、4類図書の正確な分類番号の付与・ラベル変更作業を進めた結果、第一図書室4類図書の90%程度まで完了している。
- 3-4 学級担任と協力し、直接的には国語の授業で指導や読み聞かせを行い、間接的には資料の提供という形で、国語教育を中心にサポートすることができた。

(2) 来年度に向けた課題

- 4-1 除籍が必要な図書が残っているため、引き続き計画的な除籍作業に取り組む。
- 4-2 図書室をよく利用する児童とあまり利用しない児童とで差がある。図書室に興味を持ってもらい、さらに読書へとつなげるために、来年度は全クラスでの図書館オリエンテーションの実施や定期的な読み聞かせ等を検討していく。
- 4-3 低学年はめいろやまちがいさがし、中～高学年は学習まんがを借りる児童が多い。文章を読み解く力を養うために、ものがたり等の読み物を効果的に薦めていく。